

第6回 生薬ソムリエ（初級）試験

【解答の部】

問（1）桂皮に関する記載文で、正しいものはどれか。

- ① 特異な臭気がある。
- ② 原植物は温帯の丘陵地に多く生える。
- ③ 硬くて破折しにくい。
- ④ 検鏡するとき、石細胞を多く認める。
- ⑤ 口にすると苦味を感じる。

答え：4

- ① 特異な芳香がある。
- ② 原植物は中国南部からベトナムの熱帯に多く生える。
- ③ 破折しやすい。
- ④ 検鏡（鏡検）するとき、石細胞を多く認める。皮層はほとんど連続した石細胞環で区分され、環の外辺にはほぼ円形に結集した繊維束を伴い、環を構成する石細胞の細胞壁はしばしばU字形に肥厚する。
- ⑤ 味は甘く、辛く、後にやや粘液性で、僅かに収れん性である。

問（2）五味子に関する記載文で、正しいものはどれか。

- ① 原植物は日本にも野生する。
- ② 原植物はナス科に属する。
- ③ 苦味があるが、残留性ではない。
- ④ 虫害を受けやすい。
- ⑤ 薬用部位は種子である。

答え：1

- ① 原植物は日本にも野生する。
- ② Schisandraceae マツブサ科
- ③ 弱いにおい及び酸味があり、後に渋くて苦い。
- ④ 虫害を受けにくい。
- ⑤ 薬用部位は果実である。

問（3）紅花（コウカ）に関する記載文で、正しいものはどれか。

- ① 原植物の原産地は西アジアやアフリカであるとされる。
- ② 日本では北海道で多く栽培される。

- ③ 赤い花は、開花後徐々に退色して黄色くなる。
- ④ 番紅花よりも理血薬としての効果が優れるとされる。
- ⑤ 高品質なものを得るために、採集は夕方以降に行われる。

答え：1

- ① 原植物の原産地は西アジアやアフリカであるとされる。エジプト原産とされる。
- ② 日本では山形で多く栽培される。
- ③ 黄色い花は、開花後徐々に退色して赤色になる。
- ④ 番紅花（サフラン）の方が理血薬としての効果が優れるとされる。

サフラン：アヤメ科サフラン属 理血剤（血行循環改善）解鬱安神（ストレス緩和）血流を良くするので、妊娠中や月経過多などの際の使用は禁忌

- ⑤ 高品質なものを得るために、採集は明け方早い時間に行われる。

問（4） 大黃の説明として誤っているものはどれか。

- ① 主な活性成分はアンスロン配糖体のセンノシド A であり、体内で腸内細菌により解糖、還元され瀉下作用を示す。
- ② 収穫した根茎をそのまま乾燥させた軽質系のものと外面を焼き皮層の大部分を除いた重質系のものがある。
- ③ 古い時代には 健胃、消炎、駆瘀血薬として利用されていたが、現在では主に瀉下薬として利用されている。
- ④ 日局では *Rheum palmatum* と *R. tanguticum* の2種のみが原植物として規定されている。
- ⑤ 神農本草経の下品に収載されており、薬効の激しさと即効性から「將軍」の別名を持つ。

答え：4

日局では *Rheum palmatum* と *R. tanguticum*、*R. officinale*、*R. coreanum* 又はそれらの種間雑種 (Polygonaceae) の、通例、根茎

主な活性成分はアンスロン配糖体 注) 正確にはジアンスロン配糖体

問（5）次に示す生薬のうち、原植物の葉が複葉であるものはどれか。

- ① ボクソク
- ② ニンジン
- ③ タイソウ
- ④ トウニン
- ⑤ ケイヒ

答え：2

問（6）生薬の原植物に関する説明で、間違っているものはどれか。

- ① サイコの花は黄色い。
- ② サンシュユの花は黄色い。
- ③ ショウマの花は白い。
- ④ トウニンの花は白い。
- ⑤ キジツの花は白い。

答え：4

問（7）次に示す生薬の原植物の中で、雌雄異株ではない植物はどれか。

- ① 麻黄
- ② 五味子
- ③ 山椒
- ④ 麻子仁
- ⑤ 連翹

答え：2 and 5

ちなみに、第17改正日本薬局方において基原植物がレンギョウ一種に限定された。レンギョウ *Forsythia suspensa* Vahl (Oleaceae モクセイ科) の果実

問（8）次の薬用植物の中で、ナラタケ菌と共生するものはどれか。

- ① オニノヤガラ
- ② クヌギ
- ③ ハマスゲ
- ④ ニクズク
- ⑤ コウホネ

答え：1

- ① オニノヤガラ 天麻—ラン科オニノヤガラ属の多年草。腐生植物。ナラタケから栄養提供を受けて生活する菌従属栄養植物
- ② クヌギ 樺櫨—渋味があるものが良い。漢方処方にオウヒ(桜皮)の代わりに配合する。
- ③ ハマスゲ 香附子—*Cyperus rotundus* Linne. (Gramineae イネ科) の根茎
- ④ ニクズク 肉豆蔻—ニクズク *Myristica fragrans* Houttuyn (Myristicaceae ニクズク科) の種子で、通例、種皮を除いたもの。産地は東インド諸島、モルッカ諸島

⑤ コウホネ 川骨—コウホネ *Nuphar japonicum* De Candolle (Nymphaeaceae スイレン科) の根茎を縦割したもの。産地は以前は日本 (北海道, 福井, 青森など)、現在は中国産が多い。治打撲一方に含まれる

問 (9) 次の生薬の中で、原植物が田畑の雑草として嫌われているものはどれか。

- ① ウイキョウ
- ② ボウフウ
- ③ シャゼンシ
- ④ ゲンノショウコ
- ⑤ コウブシ

答え：5

香附子：ハマスゲ *Cyperus rotundus* Linné (Cyperaceae カヤツリグサ科) の根茎

問 (10) 原植物が高木となる生薬はどれか。

- ① PUERARIAE RADIX
- ② SAUSSUREAE RADIX
- ③ GARDENIAE FRUCTUS
- ④ PHELLODENDRI CORTEX
- ⑤ MOUTAN CORTEX

答え：4

- ① PUERARIAE RADIX 葛根
- ② SAUSSUREAE RADIX 木香：高冷地 (インド・カシミール地方の標高 2,400~3,600m の山岳地帯) に自生する多年生草本
- ③ GARDENIAE FRUCTUS 山梔子 低木
- ④ PHELLODENDRI CORTEX 黄柏
- ⑤ MOUTAN CORTEX 牡丹皮：ボタン *Paeonia suffruticosa* Andrews (以前の学名 *Paeonia moutan* Sims) 低木

問 (11) 花穂を意味するラテン語はどれか。

- ① FOLIUM
- ② PERICARPIUM
- ③ SPICA
- ④ CORTEX

⑤ PULVERATA

A.高等植物の地下部を基原とする生薬

根 (Radix) 根茎 (Rhizoma) 塊茎 (Tuber) 鱗茎 (Bulbus) 根皮 (Cortex)

B.高等植物の地上部を基原とする生薬

葉 (Folium) 果実(Fructus) 果皮 (Pericarpium) 種子 (Semen) 花部 (Flos, Spica) 樹皮 (Cortex)

茎枝・木部・刺 (Caulis, Lignum, Uncis) 地上部又は全草 (Herba)

PULVERATA 粉末

問 (12) 写真に示す植物に由来する生薬はどれか。

- ① 甘草
- ② 決明子
- ③ 黄耆
- ④ キササゲ
- ⑤ アセンヤク



答え：2

- ①、③は葉が似ているが、花が甘草は紫、黄耆は薄い黄色
- ④キササゲはノウゼンカズラ科。エビスグサと同じような種子袋があるが、種子は全く違う形。

問 (13) 2枚の写真は同一個体の葉片である。この植物から得られる生薬はどれか。

- ① 薄荷
- ② 艾葉
- ③ 荊芥
- ④ 茵陳蒿
- ⑤ 紅花



答え：2

- ① 薄荷 ハッカ
- ② 艾葉 ヨモギ
- ③ 荊芥 ケイガイ
- ④ 茵陳蒿 カワラヨモギ
- ⑤ 紅花 ベニバナ

問（14）写真に示す植物を原植物とする生薬の含有成分はどれか。

- ① glycyrrhizic acid
- ② ligustilide
- ③ sennoside A
- ④ baicalin
- ⑤ paeoniflorin



答え：2 写真はトウキ

- ① glycyrrhizic acid カンゾウ
- ② ligustilide トウキ
- ③ sennoside A センナ、ダイオウ
- ④ baicalin オウゴン
- ⑤ paeoniflorin シャクヤク、ボタン

問（15）写真の植物に由来する生薬はどれか。

- ① SCHIZONEPETAE SPICA
- ② GERANII HERBA
- ③ PRUNELLAE SPICA
- ④ VALERIANAE FAURIEI RADIX
- ⑤ CRATAEGI FRUCTUS



答え：2

- ① SCHIZONEPETAE SPICA ケイガイ（荊芥、学名：*Schizonepeta tenuifolia*）、シソ科の一年草
- ② GERANII HERBA ゲンノショウコ（*Geranium thunbergii* Siebold et Zuccarini）、フウロソウ科の地上部。この写真はゲンノショウコが結実期ののもので、ゲンノショウコの別名「ミコシグサ」はこの様子が御神輿の形に似ていることによる。
- ③ PRUNELLAE SPICA ウツボグサ（夏枯草、*Prunella vulgaris* L. var. *lilacina* (Nakai) Nakai) シソ科の花穂
- ④ VALERIANAE FAURIEI RADIX カノコソウ（鹿の子草、学名：*Valeriana fauriei* Briq.）はオミナエシ科カノコソウ属の多年草
- ⑤ CRATAEGI FRUCTUS サンザシ（山査子、*Crataegus cuneata* Siebold et Zuccarini）バラ科の偽果

問 (16) 写真に示す薬用植物が撮影された時期はいつか。

- ① 早春
- ② 初夏
- ③ 晩夏
- ④ 晩秋
- ⑤ 初冬

答え：1

写真はセリバオウレン



問 (17) 写真に示す薬用植物はどれか。

- ① *Prunus mume* Siebold et Zuccarini
- ② *Prunus verecunda* Koehne
- ③ *Prunus armeniaca* Linné var. *ansu* Maximowicz
- ④ *Prunus persica* Batsch
- ⑤ *Prunus yamasakura* Siebold ex Koidzumi

答え：3

解説：

- ① ウメ
- ② カスミザクラ
- ③ アンズ
- ④ モモ
- ⑤ ヤマザクラ



見分けのポイント

(A) 花柄の長短

写真：花柄が短い(花が枝に付着している)

サクラ：花柄が長い × (花が枝からぶら下がる)

(B) 花弁の形状

写真：花弁が丸い(尖っていない)

モモ：花弁の先が尖っている ×

(C) 萼の反り返り

写真：萼が反り返る

ウメ：萼が反り返らない ×

アンズ：萼が反り返る ○

A→B→C でアンズ

また、下記の D を使って

A→D→B でもアンズになる。

(D) 花の数

写真：1節に複数の花が付いている

ウメ：1節に1個の花がつく(花がまばらな感じ)

モモ、アンズ：1節に複数の花がつく(ウメよりは花が多く、華やかな感じ)

問 (18) 写真に示す植物の説明文として正しいものはどれか。

- ① 薬用部位は根である。
- ② 薬用部位を鏡検するとき、アリュールロン粒を認めない。
- ③ 原植物は白花の他、黄花もある。
- ④ 薬用部位は食用にもなる。
- ⑤ 下剤として利用される。



答え：4

写真はフジマメ (*Lablab purpurea* (L.) Sweet) ヘンズ (扁豆)

- ① 薬用部位は種子である。
- ② 薬用部位を鏡検するとき、アリュールロン粒、油滴を含み、でんぷん粒を認めることがある。
- ③ 原植物は白花の他、紫花もある。
- ④ 薬用部位は食用にもなる。
- ⑤ 種子には解夏、健胃作用があり、夏の消化不良、嘔吐、下痢、食欲減退のほか、慢性胃腸虚弱に用いられる。漢方処方では参苓白朮散などに配合される。

問 (19) 含有する精油成分が医薬品として日局に収載されるものはどれか。

- ① ハッカ油
- ② ケイヒ油
- ③ テレピン油
- ④ ユーカリ油
- ⑤ チョウジ油

答え：1

- ① ハッカ油 メントール

- ② ケイヒ油 シンナムアルデヒド
- ③ テレピン油 ピネン
- ④ ユーカリ油 シネオール、ピネン、シトロネラール
- ⑤ チョウジ油 オイゲノール

問 (20) 鏡検による純度試験 (異物) において、「でんぷん粒を認めない」との記載がない生薬末はどれか。

- ① アマチャ末
- ② オンジ末
- ③ ショウキョウ末
- ④ チョウジ末
- ⑤ ブクリョウ末

答え：3

でんぷん粒を認めないと純度試験で記載のあるもの：アマチャ末、オンジ末、カンゾウ粗エキス、チョウジ末、ブクリョウ末、ヨクイニン末

でんぷん粒を認めないと生薬の性状で記載がある：テンマ、テンモンドウ、

問 (21) 次の生薬のうち、原植物が所属する科名が異なるものはどれか。

- ① センナ
- ② ケイヒ
- ③ アラビアゴム
- ④ トラガント
- ⑤ ソボク

答え：2

ケイヒはクスノキ科、他はマメ科

問 (22) 中薬学で、気滞を改善する行気薬には分類されない生薬はどれか。

- ① 香附子
- ② 厚朴
- ③ 陳皮
- ④ 枳実
- ⑤ 蘇葉

解なし。

いずれも行気薬としての薬能を有する。

問 (23) 次の薬用植物のうち、ユリ科でないものはどれか。

- ① *Asparagus cochinchinensis*
- ② *Lilium lancifolium*
- ③ *Alpinia officinarum*
- ④ *Fritillaria verticillate* var. *thunbergii*
- ⑤ *Anemarrhena asphodeloides*

答え：3

- ① クサスギカズラ (生薬名：テンモンドウ)
- ② オニユリ (生薬名：ビャクゴウ)
- ③ (生薬名：リョウキョウ)
- ④ アミガサユリ (生薬名：バイモ)
- ⑤ ハナスゲ (生薬名：チモ)

問 (24) 日局で確認成分として果糖が規定されている生薬はどれか。

- ① 膠飴
- ② 粳米
- ③ 熟地黄
- ④ 大棗
- ⑤ 竜眼肉

答え：3

乾地黄の指標成分スタキオースが熟地黄への修治の過程でマンニトリオースと果糖に分解することを確認するもの。

問 (25) 以下の文は日局生薬総則の内容である。空欄に入る語句の組み合わせが正しいものはどれか。

生薬の性状の項は、その生薬の代表的な原植物又は原動物に基づく生薬について、鏡検時の数値を含め、その となる特徴的な要素を記載したものである。そのうち、色、におい及び溶解性については、においを適否の とすることを除き、通則の規定を準用する。また、 は適否の判定基準とする。

- ① ア.判定基準 イ.判断基準 ウ.味
- ② ア.基本 イ.判断材料 ウ.酸化及びけん化価
- ③ ア.判断基準 イ.判定基準 ウ.味

- ④ ア.判定基準 イ.判断基準 ウ.酸化及びけん化価
⑤ ア.判断基準 イ.判定基準 ウ.酸化及びけん化価

答え：3

問 (26) 次の生薬について、原植物の花に強い芳香があるものは何れか。

- ① 山梔子
② 木通
③ 白朮
④ 天南星
⑤ 升麻

答え：1 山梔子はクチナシの果実

問 (27) 次の薬用植物の中で、薬用として主に野生品が採集使用されているものはどれか。

- ① *Cnidium officinale* Makino
② *Perilla frutescens* Britton var. *crispa* W.Deane
③ *Valeriana fauriei* Briquet
④ *Alisma orientale* Juzepczuk
⑤ *Notopterygium incisum* Ting ex H. T. Chang

答え：5

- ① *Cnidium officinale* Makino 生薬名：センキュウ（川芎）栽培
② *Perilla frutescens* Britton var. *crispa* W.Deane アカジソ 生薬名：ソヨウ（蘇葉）栽培
③ *Valeriana fauriei* Briquet カノコソウ 生薬名：キツソウコン（吉草根）栽培
④ *Alisma orientale* Juzepczuk サジオモダカ 生薬名：タクシャ（沢瀉）栽培
⑤ *Notopterygium incisum* Ting ex H. T. Chang 生薬名：キョウカツ（羌活）

問 (28) 次の各生薬に関する説明で正しいものはどれか。

- ① 茯苓：チョレイマイタケの菌核で、表皮を取り除いてから乾燥したものが使用されている。
② 牛黄：牛の胆のう中に生じた結石で、Lieberman-Burchard 反応で陽性を示す。
③ 滑石：主に含水ケイ酸マグネシウムからなり、粉末にしたときに滑らかな触感があるものが良品とされる。
④ 牡蛎：カキの貝殻で、舐めると舌に強く吸着するものが良品とされる。
⑤ 石膏：硫酸カルシウムからなり、水に溶けやすく、エタノール（99.5）にほとんど溶けない。

答え：2

- ① 茯苓：チョレイマイタケの菌核で、表皮を取り除いてから乾燥したものが使用されている。→猪苓の説明
- ② 牛黄：牛の胆のう中に生じた結石で、Lieberman-Burchard 反応で陽性を示す。
- ③ 滑石：主に含水ケイ酸アルミニウムからなり、粉末にしたときに滑らかな触感があるものが良品とされる。きれいに整って均一でなめらかで碎けやすく、無臭で白色にやや青みを帯び光沢があり、異物の無いものが良い。中国薬典の滑石は鉱物学上の滑石であり、含水ケイ酸マグネシウム。
- ④ 牡蛎：カキの貝殻で、舐めると舌に強く吸着するものが良品とされる→竜骨の説明。
- ⑤ 石膏：硫酸カルシウムからなり、水に溶けにくい、エタノール（99.5）にほとんど溶けない。

問（29）写真に示す生薬に関する説明として、正しいものはどれか。

- ① 本品の味は非常に苦い。
- ② 本品は硬くて折りにくい。
- ③ 本品は独特の香りがある。
- ④ 原植物はキク科である。
- ⑤ 原植物は日本にも分布する。



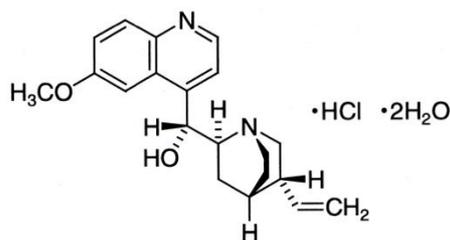
答え：5 写真は威靈仙（中国文字で「靈仙」と書かれている。中国の市場では「靈仙」と呼ばれることがある。）

- ① 本品の味はほとんどしない。
- ② 本品は硬くて折りやすい。
- ③ 本品は弱い匂いがある。
- ④ 原植物はキンポウゲ科である。

短い根茎と多数の細長い根からなる。根は長さ 10 ～ 20 cm，径 1 ～ 2 mm，外面は褐色 ～ 黒褐色を呈し，細かい縦じわがあり，折りやすく，皮部と中心柱は離れやすい。根の横切面は灰白色 ～ 淡黄褐色を呈し，中心柱は淡灰黄色 ～ 黄色，ルーペ視するとき，中心柱はほぼ円形で，木部の 2 ～ 4 箇所が僅かに湾入している。根茎は長さ 2 ～ 4 cm，径 5 ～ 20 mm，表面は淡灰褐色～灰褐色で，皮部は脱落し繊維状を呈し，しばしば隆起した節があり，頂端に木質の茎の残基を付ける。弱いにおいがあり，味はほとんどない。

問（30）右に示す構造式は何れの化合物か。

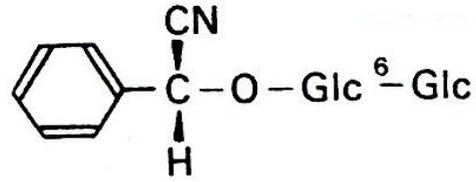
- ① Adrenarine
- ② Ephedrine
- ③ Aloe Emodin
- ④ Quinine
- ⑤ Menthol



答え：4

問 (31) 右に示す化合物を含有する生薬はどれか。

- ① ショウバク
- ② オウバク
- ③ ブシ
- ④ カンゾウ
- ⑤ キョウニン



答え：5 青酸配糖体を有する注意の必要なものはキョウニン：アミグダリン

- ① ショウバク：アルキルレゾルシノール誘導体：5-henicosylresorcinol
- ② オウバク：ベルベリン
- ③ ブシ：アコニチン
- ④ カンゾウ：グリチルリチン

問 (32) 植物に含まれる成分の中には、それをシード化合物として様々な誘導体が合成され、医薬品として使用されているものが多くある。左側の I～V の植物（含有成分）と右側に示す a～e の開発された医薬品の組み合わせとして正しいものはどれか。

- I. トウシキミ（シキミ酸） a. ワルファリンカリウム（抗血栓治療薬）
 - II. オウゴン（バイカレイン） b. クロロキン（抗マラリア薬）
 - III. ロートコン（アトロピン） c. リドカイン（局所麻酔薬）
 - IV. コカノキ（コカイン） d. ドセタキセル（抗悪性腫瘍薬）
 - V. キナノキ（キニーネ） e. アンレキサノクス（抗アレルギー薬）
- ① I-a、II-d、IV-c
 - ② II-e、IV-c、V-b
 - ③ I-a、II-d、V-c
 - ④ II-e、III-a、IV-c
 - ⑤ III-a、IV-c、V-b

答え：2

バイカレイン→アンレキサノクス、コカイン→リドカイン、キニーネ→クロロキン
シキミ酸→タミフル

問 (33) 生薬の精油を定量する際に精油定量装置に予め 2 ml 入れておく液体はどれか。

- ① メタノール

- ② エタノール
- ③ キシレン
- ④ 蒸留水
- ⑤ トルエン

答え：3

問 (34) 日局では生薬及び生薬を主たる原料とする製剤に、微生物限度試験法として生菌数試験を課している。本試験では何を測定対象としているか。

- ① 好气的条件下で発育可能な中温性の細菌及び真菌
- ② 好气的条件下で発育可能な中温性の細菌
- ③ 嫌气的条件下で発育可能な中温性の細菌
- ④ 嫌气的条件下で発育可能な中温性の細菌及び真菌
- ⑤ 嫌气的条件下で発育可能な中温性の真菌

答え：1

問 (35) 日局の生薬試験法「鏡検」において使用する光学顕微鏡の接眼レンズ及び対物レンズの組み合わせで正しいものはどれか。

- ① 接眼レンズ 10 倍、接眼レンズ 20 倍及び 100 倍 11
- ② 接眼レンズ 10 倍、接眼レンズ 10 倍、20 倍及び 100 倍
- ③ 接眼レンズ 5 倍及び 10 倍、接眼レンズ 20 倍及び 40 倍
- ④ 接眼レンズ 5 倍及び 10 倍、接眼レンズ 10 倍及び 40 倍
- ⑤ 接眼レンズ 10 倍、接眼レンズ 10 倍及び 40 倍

答え：5

問 (36) 以下の生薬のうち日局試験で起泡試験による確認試験が規定されているものはどれか。

- ① 柴胡
- ② 半夏
- ③ 大棗
- ④ 甘草
- ⑤ 升麻

答え：1

起泡試験（サポニンによる起泡の確認）による確認試験のあるもの：イレイセン、オンジ、ゴシツ、サイコ、セネガ、チモ、モクツウ

問 (37) 以下の生薬のうち日局試験でマグネシウム－塩酸反応による確認試験が規定されているものはどれか。

- ① RHEI RIZOMA
- ② MAGNOLIAE CORTEX
- ③ ORYZAE FRUCTUS
- ④ PHELLODENDRI CORTEX
- ⑤ CITRI UNSHIU PERICARPIUM

答え：5

フラボノイドの呈色反応：エイジツ、キジツ、ジュウヤク、チンピの確認試験

問 (38) 生薬の基原に関する記載で正しいものを選べ。

- ① 牛蒡子はキク科ゴボウ *Arctium lappa* の種子である。
- ② 檳榔子はヤシ科ビンロウ *Areca catechu* の果実である。
- ③ 茵陳蒿はキク科カワラヨモギ *Artemisia capillaris* の種子である。
- ④ 人參はウコギ科オタネニンジン *Panax ginseng* の根である。
- ⑤ 芍薬はボタン科シャクヤク *Paeonia suffruticosa* の根である。

答え：4

- ① 牛蒡子はキク科ゴボウ *Arctium lappa* の**果実**である。
- ② 檳榔子はヤシ科ビンロウ *Areca catechu* の**種子**である。
- ③ 茵陳蒿はキク科カワラヨモギ *Artemisia capillaris* の**頭花**である。
- ④ 人參はウコギ科オタネニンジン *Panax ginseng* の根である。
- ⑤ 芍薬はボタン科シャクヤク *Paeonia lactiflora* の根である。

問 (39) 次のうち中国の東北地方で多く生産される生薬はどれか。

- ① 菝葜
- ② 茯苓
- ③ 細辛
- ④ 沢瀉
- ⑤ 大黃

答え：3

問(40) 生薬の「六陳・八新」に関する記事で、間違っているのはどれか。

- ① 六陳生薬は収穫から日数が経った方が良く、八新生薬はなるべく新しいものが良い。
- ② 八新生薬には葉や花に由来するものが多い。
- ③ 六陳に数えられる大黄は、日本では古来古渡り品が賞用されてきた。
- ④ 精油含量試験が義務付けられている生薬は八新生薬の中に多く、六陳生薬の中にはない。
- ⑤ 六陳生薬は新しいものでは副作用が起きる恐れがあるとされていた。

答え：3及び4

八新：蘇葉、薄荷、菊花、桃花、款冬花、沢蘭、塊花、赤小豆

六陳：麻黄、狼毒、呉茱萸、半夏、陳皮、枳実

六陳の陳皮に精油含量規定がある。

問(41) 次の油脂類生薬の中で、精製が不十分で不純物が混入した状態で利用するときわめて毒性が強い物はどれか。

- ① ヒマシ油
- ② ヤシ油
- ③ ユーカリ油
- ④ 精製ラノリン
- ⑤ ツバキ油

答え：1

ヒマシ油の原料であるトウゴマ種子には毒性タンパクのリシンが含まれているが、通常は圧搾、圧抽の工程の加熱処理で分解する。

問(42) 日本薬局方において、「本品は定量するとき、ビリルビン 10.0%以上を含む」と規定される生薬はどれか。

- ① アセンヤク
- ② コロンボ
- ③ 熊胆
- ④ 黄連
- ⑤ 牛黄

答え：5

問（43）以下の文は日局生薬総則の内容である。空欄に入る語句はどれか。

「生薬に用いる容器は、別に規定するもののほか、とする。」

- ① 気密容器
- ② 密閉容器
- ③ 密封容器
- ④ 気密または密閉容器
- ⑤ 気密または密封容器

答え：2

問（44）現在、日本国内では生産されていない生薬はどれか。

- ① Cnidium Rhizome
- ② Ginseng
- ③ Bupleurum Root
- ④ Dioscorea Rhizome
- ⑤ Cistanche Herb

答え：5

- ① Cnidium Rhizome センキュウ
- ② Ginseng ニンジン
- ③ Bupleurum Root サイコ
- ④ Dioscorea Rhizome サンヤク
- ⑤ Cistanche Herb ニクジュヨウ

問（45）生薬の加工調製法として正しくないのはどれか。

- ① 黄芩：十分水洗し、きれいに土砂を落としてから天日乾燥した。
- ② 当帰：自然乾燥後、湯もみではなく、水洗した。
- ③ 葛根：立方体状に裁断してから乾燥した。
- ④ 桔梗：皮去りをして乾燥した。
- ⑤ 厚朴：木を切り倒してから剥皮した。

答え：1

- ① 黄芩：水洗により緑色に変色するため、水洗はせず、乾燥してから磨きにより土砂落とす。磨きはドラム缶のような磨き機に入れて回転させて互いの表面をこすり合わせて磨く。土砂を十分に落とすため周

皮が除去されるくらいまで磨く。

② 当帰：秋に掘りとり 4 ～ 5 本を一束とし、茎葉を付けたままの状態にして、藁縄で一括りし、上部の葉を切り落として稲架（はさ）に掛け、翌年の 2 月頃まで放置し、乾燥させる。2 月の晴天の暖かい日を選び、湯揉み洗いをする。たらい又は桶を用意し、70 ～ 80℃の湯を入れ、まな板様の板を用意し、この上に稲架の当帰を置き、丁寧に根の先端から基部にかけて両手で揉む。根の間の土や小石を落とし、きれいな馬尾状（ばびじょう）に形を整え、再び稲架に掛けて乾燥する。又、北海道では 10 月～11 月に掘りとり、土を除去したのち水洗し、風乾又は加熱乾燥して仕上げる。

③ 葛根：9 ～ 10 月頃に根を掘り取り、コルク皮をはいで縦割りにし（板葛根）、または約 5 ～ 8 mm 立方のサイコロ形に切って（角葛根）乾燥する。

④ 桔梗：秋期に根を掘り取り、水洗して乾燥するもの（生干桔梗）と、コルク皮を除き乾燥するもの（晒桔梗）がある。

⑤ 厚朴：7 ～ 8 月に伐採し、樹皮を剥ぎ乾燥する。

問（46）医薬品の切度及び粉末度を評価する際には、目の粗さ（細かさ）が異なる何種類の篩が使用されるか。

- ① 4 種類
- ② 5 種類
- ③ 6 種類
- ④ 7 種類
- ⑤ 8 種類

答え：4 20 医薬品の切度及び粉末度の名称は次による。

ふるい番号 (ふるいの呼び寸法)	左のふるいを 通ったものの名称
4号(4750 μm)	粗切
6.5号(2800 μm)	中切
8.6号(2000 μm)	細切
18号(850 μm)	粗末
50号(300 μm)	中末
100号(150 μm)	細末
200号(75 μm)	微末

問（47）次の地方の中で、センキュウが多く栽培生産されている地域はどこか。

- ① 北海道
- ② 北陸地方
- ③ 中部地方
- ④ 四国
- ⑤ 九州・沖縄

答え：1

問 (48) オウギの確認試験に設定されている成分は何か。

- ① アストラガロシドⅣ
- ② アトラクチレノリドⅢ
- ③ アラントイン
- ④ アルクチイン
- ⑤ アウクビン

答え：1

- ② アトラクチレノリドⅢービャクジュツ
- ③ アラントインーサンヤク
- ④ アルクチインーゴボウシ
- ⑤ アウクビンーシャゼンシ

問 (49) 成分化学的分類で正しくない組み合わせはどれか。

- ① 苦味成分含有生薬／竜胆
- ② 芳香性成分含有生薬／丁子
- ③ アルカロイド含有生薬／黄連
- ④ サポニン含有生薬／葛根
- ⑤ アントラキノン類含有生薬／大黄

答え：4

葛根はフラボノイド

サポニンはニンジンやカンゾウ

問 (50) 写真に示す植物に由来する日本薬局方収載生薬はどれか。

- ① FRITILLARIAE BULBUS
- ② ACONITI RADIX
- ③ LILII BULBUS
- ④ SCUTELLARIAE RADIX
- ⑤ POLYGONATI RHIZOMA



答え：1 写真はアミガサユリ (生薬名：バイモ)

- ② ACONITI RADIX トリカブト (生薬名：ブシ)
- ③ LILII BULBUS オニユリ (生薬名：ビャクゴウ)
- ④ SCUTELLARIAE RADIX コガネバナ (生薬名：オウゴン)

⑤ POLYGONATI RHIZOMA ナルコユリ (生薬名：オウセイ)

問 (51) 写真に示す植物に由来する日本薬局方収載生薬はどれか。

- ① 麦芽
- ② 夏枯草
- ③ 金銀花
- ④ 麦門冬
- ⑤ 天門冬



答え：2

写真はウツボグサ

問 (52) しばしば蜜炙加工される生薬はどれか。

- ① 当帰
- ② 附子
- ③ 半夏
- ④ 麻黄
- ⑤ 黄連

答え：4

問 (53) 『日本薬局方』で、味に関する規定がない生薬はどれか。

- ① 牛黄
- ② 石膏
- ③ 附子
- ④ 牡蛎
- ⑤ 竜骨

答え：3

生薬の性状の中で、味は判定基準であるが、附子は毒性生薬であるため、試験者の安全性も考慮して味の規定はされていない。

- ① 牛黄 本品はウシ *Bos taurus* Linné var. *domesticus* Gmelin (Bovidae) の胆のう中に生じた結石である。本品は定量するとき、ビリルビン 10.0%以上を含む。本品は弱いにおいがあり、味は初め僅かに苦く、後にやや甘い。
- ② 石膏 本品は天然の含水硫酸カルシウムで、組成はほぼ $\text{CaSO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ である。本品はにおい及び

味がない。本品は水に溶けにくい。

③ 附子

④ 牡蛎 本品はカキ *Ostrea gigas* Thunberg (Ostreidae)の貝殻である。本品はほとんどにおい及び味がない。

⑤ 竜骨 本品は大型ほ乳動物の化石化した骨で、主として炭酸カルシウムからなる。本品はにおい及び味がない。なめるとき、舌に強く吸着する。

問 (54) 甘草は日本に輸入される生薬の中でも重要な地位をしめる。その輸出入に関する以下の記述の中で、誤っているものはどれか。

① 2000年に中国国務院が発表した「甘草、麻黄の乱採取防止に関する通知」以降、中国は甘草の一切の輸出を禁止した。

② 2000年に中国国務院が「甘草、麻黄の乱採取防止に関する通知」を発表したのは、資源と環境保護がその理由であった。

③ 1970年代後半から1990年頃まで、日本の甘草輸入量（エキスを除く）は年間10000トン程度であった。

④ 2000年頃まで、日本の主な甘草輸入国には中国の他、パキスタンやアフガニスタンなどがあつた。

⑤ 2001年以降、日本の甘草輸入量（エキスを除く）は年間1000～2000トン程度を推移している。

答え：1

問 (55) 防己黄耆湯に処方されない生薬はどれか。

① 大棗

② 白朮

③ 蒼朮

④ 甘草

⑤ 乾姜

答え：5

構成生薬：防己、黄耆、白朮（蒼朮も可）、生姜、大棗、甘草

問 (56) 木香は「絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約」で規制されており、絶滅のおそれのある野生動植物の保護の対象となっている。関連する条約はどれか。

① パリ条約

② ワシントン条約

③ 名古屋議定書

- ④ 京都議定書
- ⑤ UPOV 条約

答え：2

ワシントン条約で規制されているもの：

熊胆、竜涎香、ジャコウ、羚羊角、虎骨、海狗腎、阿膠、犀角、鹿茸、鹿鞭、土鼈甲、広東人參、木香、蘇鉄、大戟、巴戟天、続随子、アロエ、白キユウ、石斛、天麻など。

注：規制の対象は、野生の動植物で、繁殖を含む完全な人工飼育あるいは人工栽培によって得られたものは規制を受けない。

問 (57) 生薬の純度試験の1つである重金属試験（日局一般試験法 1.07 に基づく）について正しい組み合わせはどれか。

- a 重金属とは、酸性で硫化ナトリウム試液によって呈色する金属性混在物をいう。
- b 重金属の量は鉛 (Pb) の量として表す。
- c 重金属の量は水銀 (Hg) の量として表す。
- d 試験方法は第1法から第3法までであり、生薬の品目により試験方法は決められている。

- ① (a, b)
- ② (a, c)
- ③ (b, c)
- ④ (c, d)
- ⑤ (b, d)

答え：1

<https://www.mhlw.go.jp/content/11120000/000788359.pdf> 1.07 重金属試験法

重金属試験法は、医薬品中に混在する重金属の限度試験である。この重金属とは、酸性で硫化ナトリウム試液によって呈色する金属性混在物をいい、その量は鉛(Pb)の量として表す。医薬品各条には、重金属(Pbとして)の限度を ppm で()内に付記する。試験方法は第1法から第4法までであり、生薬の品目により試験方法は決められている。

検液及び比較液に硫化ナトリウム試液1滴ずつを加えて混和し、5分間放置した後、両管を白色の背景を用い、上方又は側方から観察して液の色を比較する。検液の呈する色は、比較液の呈する色より濃くない。

問 (58) 以下は日局サンショウの基原植物について説明したものである。正しいものはどれか。

- ① 基原植物はサンショウ *Zanthoxylum piperitum* De Candolle であり、その品種であるアサクラザンショウ *Z. piperitum* (L.) DC. *f. inerme* Makino は基原植物に含まれない。
- ② 基原植物はサンショウ *Zanthoxylum piperitum* De Candolle であり、アサクラザンショウ *Z. piperitum* (L.) DC. *f. inerme* Makino も基原植物に含まれると解釈する。

- ③ 基原植物はサンショウ *Zanthoxylum piperitum* De Candolle であり、アサクラザンショウ *Z. piperitum* (L.) DC. f. *inerme* Makino、及び花椒 *Z. bungeanum* も含まれる。
- ④ 基原植物はサンショウ *Zanthoxylum piperitum* De Candolle であり、アサクラザンショウ *Z. piperitum* (L.) DC. f. *inerme* Makino、及び花椒 *Z. bungeanum* も基原植物に含まれる。
- ⑤ 基原植物はサンショウ *Zanthoxylum piperitum* De Candolle であり、アサクラザンショウ *Z. piperitum* (L.) DC. f. *inerme* Makino、及びイヌザンショウ *Z. schinifolium* で、中国産の花椒 *Z. bungeanum* は含まれない。

答え：2

日局規定の基原の範囲は日局参考情報の「G5.生薬関連」に記載がある。

サンショウ *Zanthoxylum piperitum* De Candolle (*Rutaceae* ミカン科) の成熟した果皮で、果皮から分離した種子をできるだけ除いたもの。

基原植物の変種としてアサクラザンショウ *Z. piperitum* DC. f. *inerme* Makino、ブドウサンショウなどがある。イヌザンショウ *Z. schinifolium* Sieb. et Zuccarini は正品ではない。

ショクショウ (蜀椒, 花椒) *Z. bungeanum* Maximowicz 又はフユザンショウ *Z. armatum* De Candolle var. *subtrifoliatum* Kitamura は、別途、日本薬局方外生薬規格 2022 に収載される。

問 (59) 以下の文章は、日本薬局方各条に収載されている生薬の性状を記したものである。該当する生薬はどれか。

「本品は細長い穂状を呈し、長さ 5~10cm、径 0.5~0.8cm、帯紫緑褐色~緑褐色である。花穂は細かい唇形花又はしばしば果実を含むがく筒を付ける。花穂の下部にはときに葉を付けることがあり、葉は線状又は狭い針形である。花軸は方柱形で紫褐色を呈する。ルーペ視するとき、類白色の短毛を認める。本品は特異な芳香があり、口に含むとわずかに清涼感がある。」

- ① 茵陳蒿
- ② 荊芥
- ③ 薄荷
- ④ 益母草
- ⑤ 夏枯草

答え：2

ケイガイ *Schizonepeta tenuifolia* Briquet (*Labiatae* シソ科) の花穂

ポイントはシソ科の特徴である唇形花で穂状である。荊芥、夏枯草のどちらかで、特異な芳香、清涼感から荊芥が該当する。

問 (60) 以下の文章は、日本薬局方各条に収載されている生薬の確認試験を記したものである。該当する生薬はどれか。

「本品の粉末 1.0 g にメタノール 5 mL を加えて 10 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用 4'-*O*-グルコシル-5-*O*-メチルピサミノール 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験を行う。試料溶液 4 μ L 及び標準溶液 1 μ L を薄層クロマトグラフィー用シリカゲル(蛍光剤入り)を用いて調製した薄層板にスポットする。次にギ酸エチル/ギ酸/2-ブタノン/水混液(20:5:5:1)を展開溶媒として約 7 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線(主波長 254 nm)を照射するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得たスポットと色調及び Rf 値が等しい。」

- ① BEZOAR BOVIS
- ② CARTHAMI FLOS
- ③ CRATAEGI FRUCTUS
- ④ CROCUS
- ⑤ SAPOSHNIKOVIAE RADIX

答え：5

記載はボウフウの確認試験

問 (61) 生薬の横断面を鏡検するとき、気孔を認めるものはどれか。

- ① 麻黄
- ② 牡丹皮
- ③ 甘草
- ④ 山帰来
- ⑤ コロンボ

答え：①

気孔があるのは葉などの地上部に由来するものになり、選択肢の中で地上部由来生薬は麻黄。

問 (62) 以下の生薬のうち、日本薬局方の各条に貯法として「遮光して保存する」ことが記載されているものはどれか。

- ① GARDENIAE FRUCTUS
- ② CROCUS
- ③ PERILLAE HERBA
- ④ MENTHAE HERBA
- ⑤ COPTIDIS RHIZOMA

答え：2

- ① GARDENIAE FRUCTUS 山梔子

- ② CROCUS サフラン
- ③ PERILLAE HERBA 蘇葉
- ④ MENTHAE HERBA 薄荷
- ⑤ COPTIDIS RHIZOMA 黄蓮

問 (63) 日本薬局方で「唾液を黄色に染める」という記載がない生薬はどれか。

- ① 黄柏
- ② サフラン
- ③ 大黄
- ④ 鬱金
- ⑤ 黄耆

答え：5

問 (64) 下記は日局サンヤクの基原である。() 中に当てはまる文言はどれか。

本品はヤマノイモ *Dioscorea japonica* Thunberg 又はナガイモ *Dioscorea batatas* Decaisne (Dioscoreaceae)の周皮を除いた () である。

- ① 根 (担根体)
- ② 珠芽 (担根体)
- ③ 根瘤 (担根体)
- ④ 根茎 (担根体)
- ⑤ 主根 (担根体)

答え：4

問 (65) 下記は日本薬局方 *Leonurus Herb* の基原である。() 中に当てはまる文言はどれか。

「本品はメハジキ *Leonurus japonicus* Houttuyn 又は *Leonurus sibiricus* Linné(Labiatae)の () である。」

- ① 全草
- ② 葉及び茎
- ③ 花期の地上部
- ④ 花穂及び茎
- ⑤ 地上部

答え：3

問 (66) 以下の文章は、日本薬局方各条に記載されている生薬の性状を記したものである。該当する生薬はどれか。

「本品は細長い円柱形を呈し、径 0.3～0.5 cm、ときに分枝している。外面は黄白色で、僅かな縦じわ及び 2～3 cm ごとに節がある。折りにくく、折面は繊維性である。」

- ① BELLADONNAE RADIX
- ② EPHEDRAE HERBA
- ③ LONICERAE FOLIUM CUM CAULIS
- ④ IMPERATAE RHIZOMA
- ⑤ SINOMENI CAULIS ET RHIZOMA

答え：4

- ① BELLADONNAE RADIX ベラドンナ根
- ② EPHEDRAE HERBA マオウ、地上茎
- ③ LONICERAE FOLIUM CUM CAULIS ニンドウ、葉及び茎
- ④ IMPERATAE RHIZOMA ボウコン、細根及び鱗片葉をほとんど除いた根茎
- ⑤ SINOMENI CAULIS ET RHIZOMA ボウイ、つる性の茎及び根茎

問 (67) 生薬の修治に関する説明文で、間違っているものはどれか。

- ① 修治により、毒性や刺激性などの副作用を軽減することができる。
- ② 修治目的として、半夏を漂白する工程がある。
- ③ 生姜と乾姜のように、修治により生薬の薬能を変えることができる。
- ④ 生薬を蜜製することにより、潤肺止咳効果を増強することができる。
- ⑤ 修治により、保管・貯蔵における変質や虫害を防止できる。

答え：2

修治目的ではなく白色にするため。

問 (68) 以下のような内部形態を呈する生薬はどれか。

「本品の横切片を鏡検〈5.01〉するとき、両面の表皮は厚いクチクラを有し、多数の気孔及び厚壁で表面に粒状突起のある単細胞毛があり、(中略)。両面の表皮下には1層の柵状組織があり、海綿状組織は3～4層からなり、シュウ酸カルシウムの集晶及び単晶を含む。維管束に接する細胞は結晶細胞列を形成する。」

- ① ビワヨウ
- ② ハッカ
- ③ ソヨウ

- ④ ヤクモソウ
- ⑤ センナ

答え：5

問（69）日本薬局方で規定されているオウレンとオウバクに関する間違っただ記述はどれか。

- ① オウレンはキンポウゲ科植物に、オウバクはミカン科植物に由来する生薬である。
- ② オウレンは根茎、オウバクは樹皮を薬用部位としている。
- ③ オウレン、オウバクともに薄層クロマトグラフィーによるベルベリンの定性試験が定められている。
- ④ オウレン、オウバクともにベルベリンの含量が定められており、オウレンは 1.2%以上、オウバクは 4.0%以上であることが定められている。
- ⑤ オウレン末の純度試験では、「鏡検するとき、結晶細胞列又は粘液塊を認めない」と規定されている。

答え：4

オウレン：本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、ベルベリン[ベルベリン塩化物(C₂₀H₁₈ClNO₄：371.81)として]4.2%以上を含む。

オウバク：本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、ベルベリン[ベルベリン塩化物(C₂₀H₁₈ClNO₄：371.81)として]1.2%以上を含む。

問（70）次の漢方処方の中で、生薬2味から構成されるものはどれか。

- ① 桂枝茯苓丸
- ② 柴胡桂枝湯
- ③ 当帰芍薬散
- ④ 防己黄耆湯
- ⑤ 芍薬甘草湯

答え：5

問（71）牛車腎気丸に関する説明で、正しい物はどれか。

- ① 六味地黄丸証で冷えが有り、泌尿器系の症状が強い患者に使用される。
- ② 六味地黄丸に牛黄と車前草を加味した処方である。
- ③ 八味地黄丸に牛膝と車前子を加味した処方である。
- ④ 処方中に五苓散の構成生薬は含まれない。
- ⑤ 処方中に大黄甘草湯の構成生薬が含まれる。

答え：3

牛車腎気丸：地黄、山茱萸、山薬、沢瀉、茯苓、牡丹皮、牛膝、車前子、桂皮、附子

五苓散：沢瀉、猪苓、白朮、桂皮

大黃甘草湯：大黃、甘草

問(72) 日局では漢方処方に含まれる成分の定量が規定されている。左側に示す漢方処方Ⅰ～Ⅲと右側に示すa～eの定量成分の正しい組み合わせはどれか。

- | | |
|----------|--------------------------------|
| Ⅰ. 芍薬甘草湯 | a. グリチルリチン酸 |
| Ⅱ. 葛根湯 | b. 総アルカロイド（エフェドリン及びプソイドエフェドリン） |
| Ⅲ. 小柴胡湯 | c. ペオニフロリン |
| | d. サイコサポニン b2 |
| | e. バイカリン |

- ① Ⅰ -a,c、Ⅱ -b,c、Ⅲ -c,d,e
- ② Ⅰ -a,c、Ⅱ -a,b,c、Ⅲ -a,d,e
- ③ Ⅰ -c,e、Ⅱ -a,b,c、Ⅲ -a,d,e
- ④ Ⅰ -a,c,e、Ⅱ -b,c、Ⅲ -a,d,e
- ⑤ Ⅰ -a,c,e、Ⅱ -b,c,e、Ⅲ -c,d,e

答え：2

芍薬甘草湯：芍薬、甘草

葛根湯：葛根、麻黄、大棗、芍薬、桂皮、生姜、甘草

小柴胡湯：柴胡、黄芩、半夏、甘草、人参、生姜、大棗

甘草 a. グリチルリチン酸

麻黄 b. 総アルカロイド（エフェドリン及びプソイドエフェドリン）

芍薬 c. ペオニフロリン

柴胡 d. サイコサポニン b2

黄芩 e. バイカリン

問(73) エキス剤に関する日局規定で、正しいものはどれか。

- ① 乾燥エキス剤は適切な賦形剤を加えて、錠剤、顆粒状又は粉末状とする。
- ② 本剤に用いる容器は、気密容器とする。
- ③ エキス剤は、生薬の浸出液を濃縮して製したもので、通例乾燥エキス剤とする。
- ④ 本剤を製するには、別に規定するもののほか、通例、生薬原料を粉末として適切な浸出剤を加え、一定時間冷浸又は温浸する。
- ⑤ 本剤は、別に規定するもののほか、顆粒剤については崩壊試験法に適合する。

答え：2

エキス剤は、生薬の浸出液を濃縮して製したもので、通例 軟エキス剤、乾燥エキス剤とする。

(i)適切な大きさとした生薬に適切な浸出剤を加え、一定時間冷浸、温浸又は「6.チンキ剤」の(2)(ii)パーコレーション法に準じて浸出し、浸出液をろ過し、適切な方法で濃縮又は乾燥する。軟エキス剤は水あめ様の稠度とし、乾燥エキス剤は砕くことができる固塊、粒状又は粉末とする。成分含量の規定があるものは、その一部をとり、定量し、必要に応じて適切な賦形剤を加えて、規定の含量に調節する。

(ii)適切な大きさとした生薬を処方に従って一定量ずつ量り、全量に水 10 ～ 20 倍量を加え、一定時間加熱し、遠心分離などにより固液分離する。得られた浸出液を適切な方法で濃縮又は乾燥し、軟エキス剤は水あめ様の稠度とし、乾燥エキス剤は砕くことができる固塊、粒状又は粉末とする。

重金属試験法の検液及び比較液の調製を行った後、重金属試験法〈1.07〉に適合する。

問(74)次に示す生薬5種の中で、漢方生薬として国内使用量が最も多いものはどれか。

- ① ブクリョウ
- ② サイコ
- ③ ケイヒ
- ④ カッコン
- ⑤ ヨクイニン

答え：1

2023年度に報告されたデータ：甘草、茯苓、芍薬、桂皮、半夏、蒼朮、当帰、大棗。。と続く

問(75)次の生薬で医薬品としての市場価格が最も高価なものはどれか。

- ① APILAC
- ② GINSENG RADIX RUBRA
- ③ BUFONIS CRUSTUM
- ④ GASTRODIAE TUBER
- ⑤ CISTANCHIS HERBA

答え：3

- ① APILAC ローヤルゼリー
- ② GINSENG RADIX RUBRA コウジン
- ③ BUFONIS CRUSTUM センソ
- ④ GASTRODIAE TUBER テンマ
- ⑤ CISTANCHIS HERBA ニクジュヨウ

問（76）漢方処方の使用上の注意や副作用について、誤っているものはどれか。

- ① 妊婦、産婦、授乳婦への投与は副作用の観点から原則投与しないことが望ましいが、小半夏加茯苓湯は妊婦のつわりに使用されることがある。
- ② 小児等への投与は用法及び容量が承認されておらず、安全性が確立していないため投与してはいけない。
- ③ 小柴胡湯はインターフェロン製剤との相互作用により重篤な副作用が発現することがあるため、併用禁忌となっている。
- ④ カンゾウを1日量として2.5g以上含有する処方については、偽アルドステロン症が現れやすくなるため他のカンゾウ含有処方や利尿剤などとの併用は注意し、観察を十分に行う必要がある。
- ⑤ 黄連解毒湯、加味逍遙散などのサンシシ含有処方は長期服用により腸間膜動脈硬化症を引き起こす可能性がある。

答え：2

問（77）玄米が配合される漢方処方は何ですか。

- ① 黄連解毒湯
- ② 半夏厚朴湯
- ③ 麦門冬湯
- ④ 防風通聖散
- ⑤ 補中益気湯

答え：3

麦門冬湯：甘草、人参、硬米（玄米の状態）、半夏、大棗、麦門冬

問（78）本草書に関する記載について誤っているものはどれか。

- ① 『証類本草』の初刊本が『大観本草』である。
- ② 『証類本草』では『新修本草』の内容は「唐本注曰」以下に記されている。
- ③ 『証類本草』では『神農本草経集注』の内容は「陶隱居曰」以下に記されている。
- ④ 『新修本草』は蘇敬らが編纂した明代を代表する本草書である。
- ⑤ 『神農本草経集注』は陶弘景が500年頃に編纂した薬物書である。

答え：4

- ④ 『新修本草』は蘇敬らが編纂した唐代を代表する本草書である。

問 (79) 小野蘭山が口述した内容を記録した本草書はどれか。

- ① 本草一家言
- ② 本草拾遺
- ③ 薬徴
- ④ 和訓神農本草經
- ⑤ 本草綱目啓蒙

答え：5

- ① 本草一家言：松岡恕庵
- ② 本草拾遺：陳 蔵器
- ③ 薬徴：吉益東洞

問 (80) 下図は政和本草のヨクイニンに関する記文である。煮汁が、多尿で喉が渇く病に良いということを紹介した本草書はどれか。

- ① 神農本草經
- ② 名医別録
- ③ 新修本草
- ④ 開宝本草
- ⑤ 図經本草

薏苡人

薏苡 音改 以青 人味甘微寒無毒 主筋急拘攣不可屈伸風濕痺下氣除筋骨邪氣不仁利腸胃消水腫令人能食久服輕身益氣其根下三蟲一名解蠶一名屋茨音一名起實

一名**薏苡** 音感 生真定平澤及田野八月採實採根無時音 常山郡近道與輿有多生人家交趾者子最大彼土呼為薏苡馬援大取將還人譏以為真珠也實重累者為良用之取中人今小兒病蚊蟲取根煮汁糜食之甚香而去蚊蟲大効音 云薏苡收子蒸令氣細暴乾磨取人炊作飯及作麩主不飢溫氣輕身煮汁飲之主消渴音 又按列本庄云今多用深漢者氣力劣於真定取青冰色者良音 又按列本庄云今多用深漢者氣力劣於真定食主肺痿肺氣吐膿血效嗽浮腫上氣昔馬援煎服之破五溪毒腫腫於彼取人飯中蒸使氣縮暴於日中使乾按之得人矣音 平去乾濕音 圖經曰 薏苡人生真定平澤及田野今所在有之春生脚氣大驗音 六月結實青白色形如珠子而稍長故呼為薏苡子五月貴珠為歲八月採實採根無時今人通以九月十月採用其實中人古方大抵心肺藥多用之韋丹治肺癰心胃甲錯者導苦酒煮薏苡人令濃微溫頓服之肺有血當吐愈黃濟方治冷氣薏苡人飯粥法細者其人炊為飯氣味欲勻如麥飯乃佳或者粥亦好自任無忌根之入藥者葛洪治卒心腹煩滿又骨痛者劉根濃煮汁服三升外乃定今人多取葉為飲香益中空膈甚勝其雜他藥用者張仲景治風濕身煩疼日晡劇者與麻黃杏仁薏苡人湯麻黃三兩杏仁三十枚甘草薏苡人各一兩四物以水四升煮取二升分再服又治胃痺綿緩急者薏苡人附子散方薏苡人十五兩大附子十枚炮二物并末



答え：4

中ほどの部分(赤色網掛け部)に「煮汁飲之主消渴(消渴=多尿で喉が渇く病)」と記載される。
この部分は「今按」として記載され、開宝本草に収載される。